

2021 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」		
題名・副題	植物ジュニアレンジャー活動(2) ～外来種はほんとにわるい?～		
月日・時間	5月29日(土) 10:00～13:30		
開催場所	県立保土ヶ谷公園		
部会・講師名	自然環境部会 吉岡嗣二郎	参加数	17名
		講師数	5名

写真・画像



「ミノムシ」が絶滅した理由を聞きました



外来種の植物分布状態を調べました



外来種が日本に来た話を聞きました



緊張したけど頑張って発表しました

成果解説

今回の講座では、植物レンジャーとして活動するために、「外来種」とは何か、外来種の「現状」、「原産地」、「被害」、「対応」などを学び、考えることがテーマです。

始めに、室内でレンジャーの活動内容、外来種について学んだ後、公園に出て植物を観察しながら外来種と人とのかかわりなどの説明を聞きました。中国原産の「生きている化石」とされるメタセコイアなどを観察、外来種のオオミノガヤドリバエによって「ミノムシ」(オオミノガ)が絶滅したことを知りました。広さ1㎡に、外来植物がどの程度分布しているか調べたところ50%を超えました。外来種の美しい「ヒルザキツキミソウ」や幸運を呼ぶ四つ葉のクローバー「シロツメグサ」なども興味深く調べました。

室内に戻って、外来植物を「持ち込まない」、「捨てない」、「広げない」ことが大切、自分で育てた植物は最後まで育てることや、園芸種を野生化させないことも学びました。最後に、学んだこと、気づいたことを発表しました。小学低学年生にはやや難しいところがありましたが、子どもたちは積極的に取り組みました。